

JAPANESE HERITAGE



JAPAN HERITAGE
日本遺産

2025
10 / 25 - 26
SAT - SUN

主催・問い合わせ／日本遺産奥南部漆物語推進協議会 urushi@city.ninohiwa.iwate.jp
協賛／浄法寺うるしび合同会社、安比塗漆器工房、日本うるし掻き技術保存会、岩手県浄法寺漆生産組合

安比川流域で
今に受け継がれる
うるしの仕事。
見る・知る・染みる
深掘りできる二日間。

うるし
みえる



10:00-16:00 ※26日は15:00 終了

展示・体験 岩手銀行赤レンガ館
市場・芸能 プラザおでって広場 (25日のみ)

地域経営推進費活用事業



岩手県二戸市・八幡平市に流れる安比川流域では、人々は古から「うるし」と共に生きてきました。山から木を切り出し、木地を挽き、ウルシの樹液を用いてつくられる漆器やそこでの暮らしは、ここにしかない風土が育んだ文化です。この展示で「奥南部漆物語」をより深く体感してください。

木を植え、育てる

漆林づくりは人の手がかかります。一朝一夕にはできないからこそ、地元の人、企業、子供たち、みんなで漆文化をつないでいきます。

漆掻き

6月から10月ごろまで山に入りウルシの木に傷を付けながら樹液である漆を採取します。木の状態や環境を見極め、一滴一滴を丁寧に。

木地（きじ）

漆器のベースとなる木地を木の塊から削り出します。樹種ごとの性質を見極めた繊細な量産は、手しごとだからなせる業です。

塗り

地元で採れた浄法寺漆を木地に塗り仕上げます。器の形を考え、質、美しさ、あらゆる角度から漆の魅力を引き出し、使い手へ。



ユネスコ
無形文化遺産
漆掻きの
技術



岩手銀行赤レンガ館会場

見て・ふれて漆のことがよくわかる！
県内作家による漆器が100点以上並びます。この機会にぜひお求めください。



漆掻き解説

【出展作家】

菅原咲	高橋睦
島川千世	ゆうび
富士原智子	岩館 隆
富士原文隆	岩館 巧
増子菜美	玉山 保男
村上尚美	佐々木 暢子
佐々木春菜	滴生舎
	安比塗漆器工房



漆器展示販売



ろくろ体験



漆器制作実演

プラザおでって広場会場

郷土芸能と
産直市場

10/25 SAT のみ
10:00-16:00

おいしい！
地場産品
コーナー



- ・八幡平市産業振興（株）
- ・麴屋もとみや
- ・石橋せんべい
- ・姉帯菓子舗
- ・キッチンガーデン
- ・Coelacanth COFFEE
シーラカンズコーヒー

駒ヶ嶺新山神楽保存会 11:00-11:30



二戸市浄法寺に800年以上前から伝わる神楽。五穀成就、悪病退散等を祈念し、南部公にも舞を奉納。冬期間には近郷を興業してまわったともいわれている。舞は40数種類からなり、現在では権現舞、ラッパ舞、番楽、女舞、三宝荒神、酒濾し舞、杵舞、盆舞等が伝えられている。

浅沢神楽 13:30-14:00



八幡平市浅沢に伝わる神楽。鎌倉時代、現在の二戸市浄法寺町に住んでいた山伏が神社を建立した時に、浄法寺城主と領民の安泰や五穀豊穰、悪疫退散などを祈願し奉納した舞が始まりと伝わる。一時廃れたが、昭和50年代に復活。権現舞、虎の口、鶏舞、ホロコ、杵舞などがある。